

報道各位

2019年10月1日

住友商事株式会社

住商ファーマインターナショナル株式会社

住商コスメティクス株式会社

化粧品事業の新会社設立について

住友商事株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役 社長執行役員 CEO：兵頭 誠之、以下「住友商事」）および住商ファーマインターナショナル株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：中村 健一、以下「住商ファーマ」）（以下2社をあわせて「住友商事グループ」）は、住商ファーマの化粧品事業を会社分割し、化粧品事業に特化した新会社である住商コスメティクス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：秋山 光、以下「住商コスメティクス」）を設立しました。住商ファーマは、創薬事業および医薬事業を核とした医薬品事業に引き続き取り組みます。

住友商事グループは、2007年の米国の Presperse 社への出資を皮切りに、化粧品素材ディストリビューター事業に本格参入しました。以降、ブラジルの Cosmotec 社の買収や、ドイツ協和発酵バイオの欧州化粧品原料事業の譲受、フランスの SACI 社の買収を通じ、グローバルに事業を拡大してきました。また、2018年には世界最大の ODM (Original Design Manufacturing) 企業であるイタリアの Intercos 社と提携し、化粧品メーカー向けに化粧品の設計・企画の提案から受託製造までを担う ODM 事業にも取り組んでいます。

住友商事グループは、化粧品事業を強化・拡大し、日本国内および世界各国でより機動的に事業展開することを目的に、化粧品ビジネスの中核企業として住商コスメティクスを設立しました。米国、ブラジルおよびフランスでの事業基盤を相互に活用し、素材販売や独自商品の開発に取り組むほか、Intercos 社との ODM 事業も国内外でさらに加速させていきます。

住商コスメティクスは、化粧品事業のプロフェッショナル集団として、グローバルな事業基盤を通じて新しい価値を創造し、世界中のユーザーの美しくありたいとのニーズに応えることにより、快適で心躍る暮らしの基盤づくりに貢献していきます。

<参考資料>

■住商コスメティクス株式会社概要

- ・設立：2019年10月1日
- ・所在地：東京都千代田区一ツ橋
- ・代表者：代表取締役社長 秋山光
- ・出資構成：住友商事 100パーセント
- ・事業内容：化粧品素材の開発・販売および化粧品の製造・販売

■住友商事のマテリアリティ（重要課題）

住友商事グループは『社会とともに持続的に成長するための6つのマテリアリティ（重要課題）』を、事業戦略の策定や個々のビジネスの意思決定プロセスにおける重要な要素と位置付け、事業活動を通じて課題を解決することで持続的な成長を図っていきます。本事業は、特に「地域と産業の発展への貢献」、「快適で心躍る暮らしの基盤づくり」に資する事業です。

6つのマテリアリティ	
	地球環境との共生 循環型社会の形成と寄稿変動の緩和を目指し、資源の有効利用や再生可能エネルギーの安定供給に向けた仕組みづくりに取り組むことで、地球環境と共生した成長を実現します。
	地域と産業の発展への貢献 さまざまな国や地域の人々のニーズに応じてモノやサービスを安定的に調達・供給し、産業のプラットフォームづくりに貢献することで、地域社会とともに成長・発展する好循環を生み出します。
	快適で心躍る暮らしの基盤づくり 毎日の生活に必要なモノやサービスを提供してより便利で快適な暮らしを実現するとともに、質の高い暮らしへのニーズにも応えていくことで、全ての人々の心と体の健康を支えます。
	多様なアクセスの構築 人・モノが安全かつ効率的に行き交うモビリティを高め、情報・資金をつなぐネットワークを拡大することで、多様なアクセスを構築し、新たな価値が生まれる可能性を広げます。
	人材育成とダイバーシティの推進 多様なバックグラウンドを有する人材が、各々のフィールドで能力を最大限に発揮して、新たな価値や革新を生み出せるように、最重要の経営リソースである人材の育成・活躍推進に取り組みます。
	ガバナンスの充実 透明性を確保しつつ、持続的な成長に向けた戦略の立案・実行およびその適切な監督を充実させることで、経営の効率化を向上し、健全性を維持します。

【本件に関するお問い合わせ】

住友商事株式会社 広報部 報道チーム 中村・深田 TEL：03-6285-3100

住商ファーマインターナショナル株式会社 業務部 丸山 TEL：03-5220-1516